



No.51

コメ先物 実需者向けレポート

大阪堂島商品取引所

公表日：2016.6.7

目次

1	現物受渡し	1
1.1	2016年5月の現物受渡し	
	①東京コメ	
	②大阪コメ	
1.2	受渡種類別受渡実績	
	①東京コメ	
	②大阪コメ	
1.3	受渡制度（概要）について	
2	納会値段の推移	5
3	ヘッジ	6
3.1	ヘッジについて	
3.2	ヘッジ・シミュレーション	
4	現物価格と先物価格	8
4.1	価格推移	
	①東京コメと標準品現物価格	
	②大阪コメと標準品現物価格	
4.2	箱ひげ図	
	①東京コメと標準品現物価格	
	②大阪コメと標準品現物価格	
参考1	取引要綱	10
参考2	期日受渡しのタイムスケジュール	11
参考3	早受渡しのタイムスケジュール	12
参考4	商品先物取引業者	13
	お知らせ	14

本レポートに関するデータは一般紙、業界紙等の媒体を通じて公表されているものを一部使用しております。又、掲載情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。利用者がレポートの情報を用いて行う一切の行為について本所は何ら責任を負うものではありません。記載されている内容は作成時におけるものであり、将来において事前の予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

1 現物受渡し

1.1 16年5月の現物受渡し

①東京コメ

○期日受渡し

銘柄	産地	年産	玄米重量	備考
どんぴしゃり	岩手県産	2015	24.00 ^ト	
天のつぶ	福島県産	2015	24.00 ^ト	
あきたこまち	千葉県産	2015	12.00 ^ト	
あさひの夢	栃木県産	2015	12.00 ^ト	
なすひかり	栃木県産	2015	12.00 ^ト	

○早受渡し

銘柄	産地	年産	玄米重量	備考
受渡しはありません				

○合意早受渡し

銘柄	産地	年産	玄米重量	備考
チヨニシキ	福島県産	2015	25.20 ^ト	2016年5月限
雑品種	北海道産 (2等)	2015	47.94 ^ト	2016年5月限
ななつぼし	北海道産 (2等)	2015	0.06 ^ト	2016年5月限
天のつぶ	福島県産	2015	48.00 ^ト	2016年6月限
はえぬき	山形県産	2015	38.40 ^ト	2016年6月限
コシヒカリ	福島県中通り産	2015	12.00 ^ト	2016年6月限

上表は、特に記載がない限り1等米となります。

1 現物受渡し

1.1 16年5月の現物受渡し

②大阪コメ

○期日受渡し

銘柄	産地	年産	玄米重量	備考
コシヒカリ	福島県中通り産	2015	15.00 ^ト	
コシヒカリ	茨城県産	2015	12.00 ^ト	

○早受渡し

銘柄	産地	年産	玄米重量	備考
受渡しはありません				

○合意早受渡し

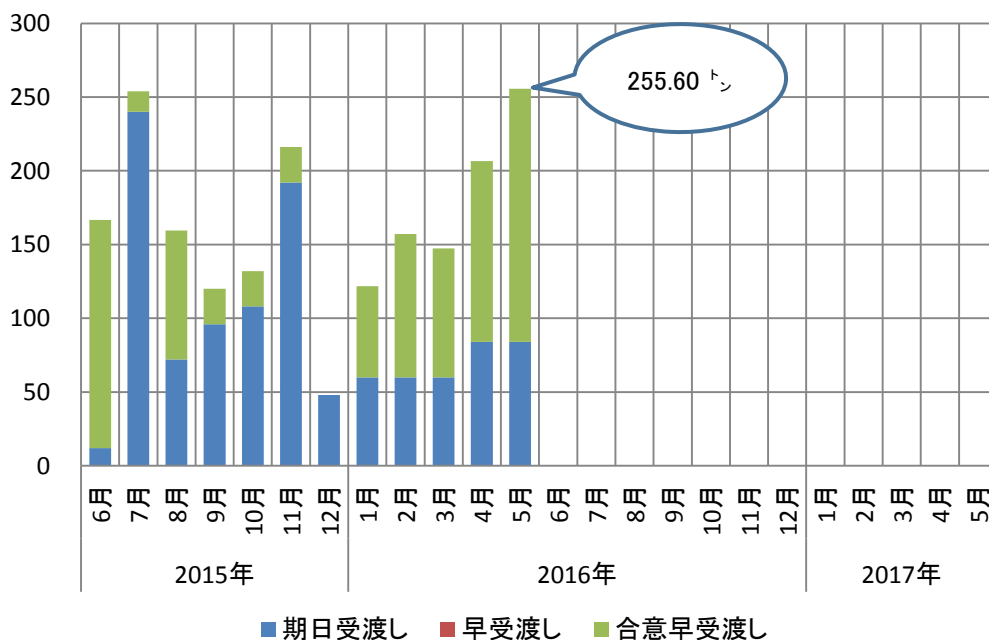
銘柄	産地	年産	玄米重量	備考
コシヒカリ	福島県中通り産	2015	24.00 ^ト	2016年5月限
コシヒカリ	福島県会津産	2015	3.00 ^ト	2016年6月限

上表は、特に記載がない限り1等米となります。

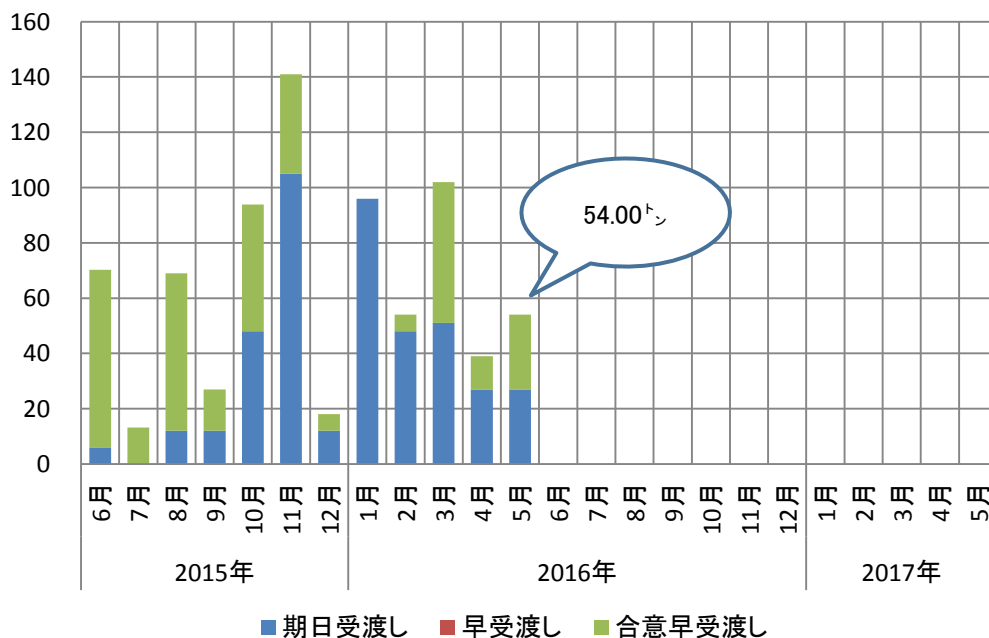
1 現物受渡し

1.2 受渡種類別受渡実績

①東京コメ



②大阪コメ



1 現物受渡し

1.3 受渡制度（概要）について

①期日受渡し

期日受渡しは、受渡しの基本的な方法で、取引所が指定する営業倉庫が発券する「倉荷証券」を用いて行います。渡方は、取引所に「倉荷証券」を持ち込み、受方は取引所に「受渡代金」を納め、取引所がこれらを仲介して、受渡しを完了させます。

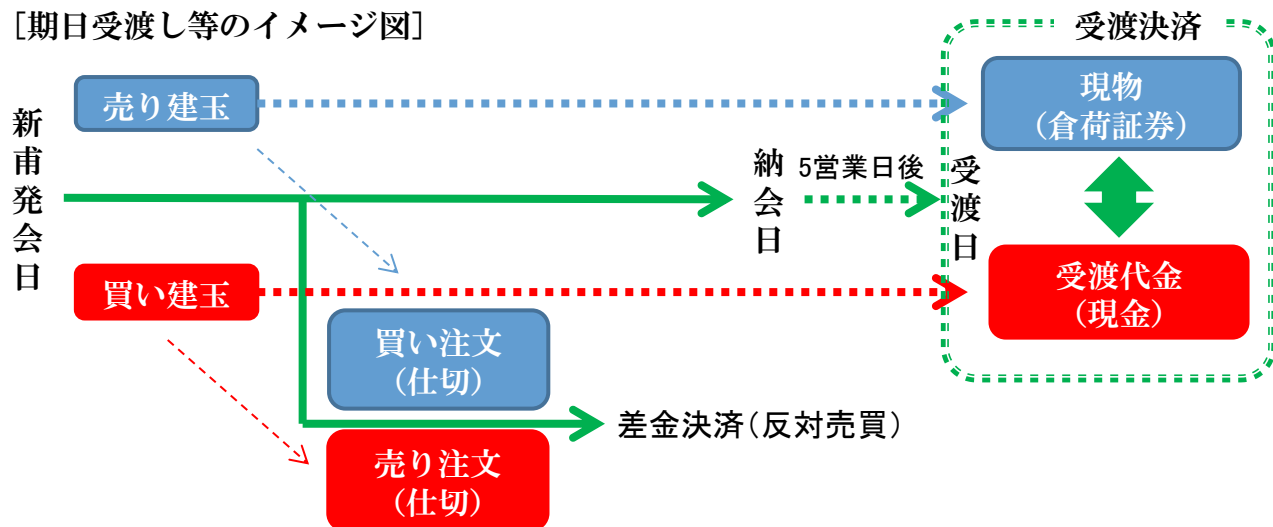
②早受渡し

早受渡しとは、納会日以前でも、取引所に希望条件（年産・産地品種銘柄・等級等）を申し出ることによって、受渡しを可能（早受希望・早渡希望）にする制度です。この希望条件は公表され、応諾する方があれば、受渡しが成立します。（受渡しの流れは期日受渡しと同様です。）

③合意早受渡し

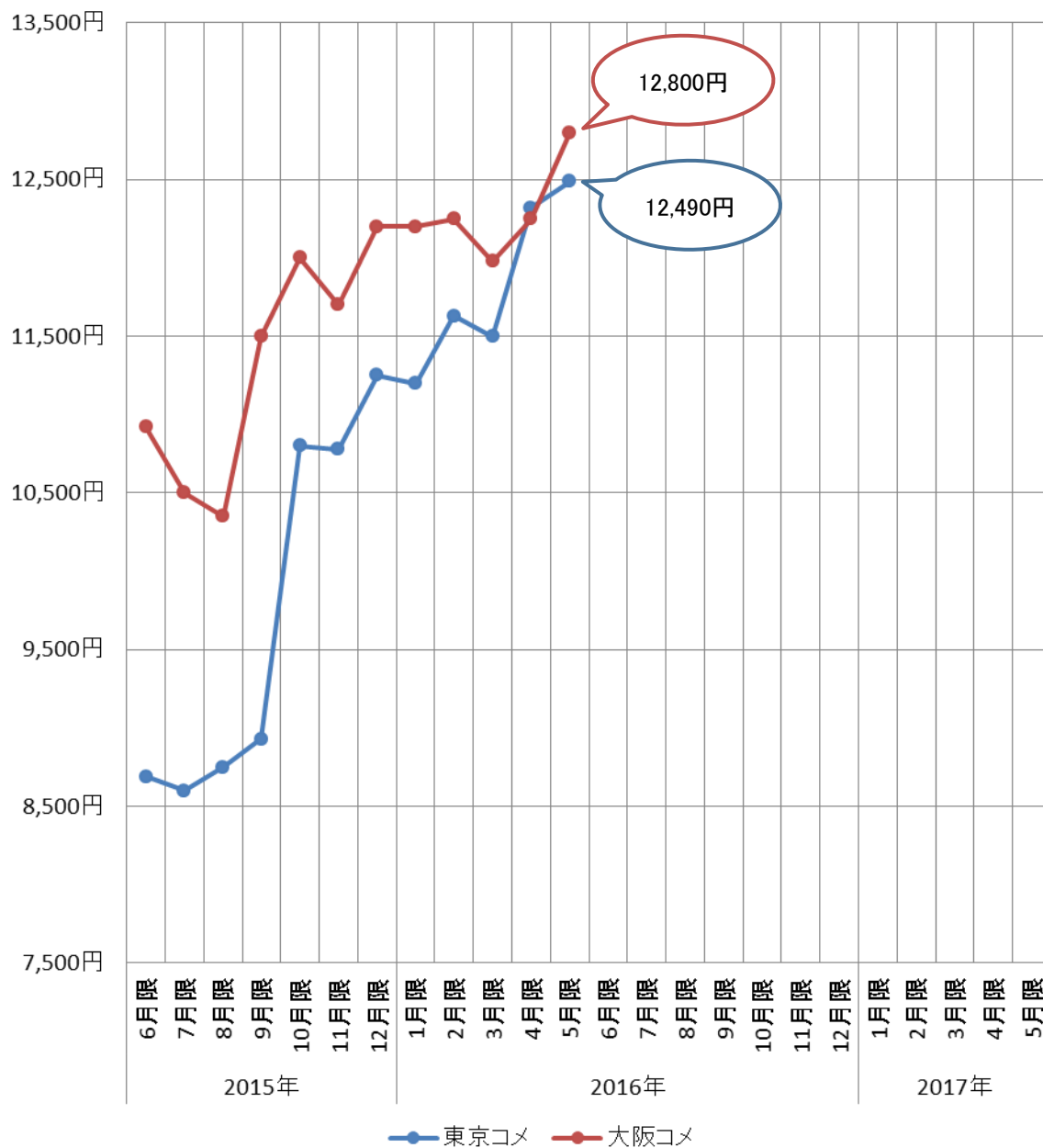
受方と渡方が合意することを条件に、新甫発会日の翌営業日から納会日の前営業日までのおよそ半年間にわたり、いつでも受渡しを行うことができる制度です。この制度を利用すれば、倉荷証券以外の受渡方法や、受渡供用品以外のコメを対象とするなど、双方が使い易い受渡条件の下で受渡しをすることが可能になります。

[期日受渡し等のイメージ図]



差金決済とは、現物・現金の受け渡しをせず、反対売買による差額の授受で決済することです。

2 納会値段の推移



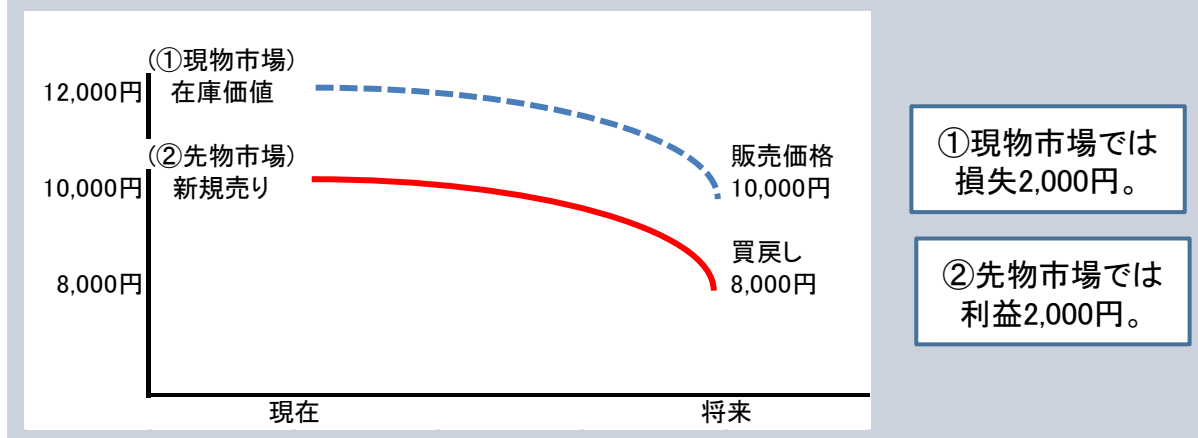
納会日（取引最終日）は、東京コメは当該限月の20日、大阪コメは当該限月の10日です（当日が休業日の時は順次繰り上げる）。

3 ヘッジ（価格変動リスクに備える）

3.1 ヘッジについて

ヘッジとは、先物市場を利用することで、将来の価格変動による損失を最小限に抑えようとするリスクマネジメント手法の一つであり、いわば価格変動リスクに対する保険機能とご理解ください。具体的には、在庫価値等の減少に備えるなら「売りヘッジ」、仕入れコストの高騰に備えるなら「買いヘッジ」で対応します。

下図は、コメ在庫の価格変動リスクに備えるため、コメ先物取引で売りヘッジした場合のイメージを表しています。



下表は、納会を終えたばかりの大阪コメ2016年5月限のデータに基づく、ヘッジ取引例となります。

もし「買いヘッジ」をしていたら・・・

(a)新規取引		(b)決済取引		損益(b-a)×50俵
2016年2月23日	11,940円	2016年5月6日	12,800円	43,000円
買い		転売		

もし「売りヘッジ」をしていたら・・・

(a)新規取引		(b)決済取引		損益(a-b)×50俵
2015年12月30日	12,420円	2016年1月25日	11,970円	22,500円
売り		買戻し		

コメ先物取引の損益計算は、東京コメは、1俵(60kg)あたりの変動額に200俵(倍)を乗じ、大阪コメの場合は、50俵(倍)を乗じて算出します。

3 ヘッジ（価格変動リスクに備える）

3.2 ヘッジ・シミュレーション

東京コメは、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等及び2等合格品を受渡しの対象としています。今回は山形県産はえぬき（現物相場）と先物相場の関係性を見ながら、ヘッジシミュレーションを行うこととします。

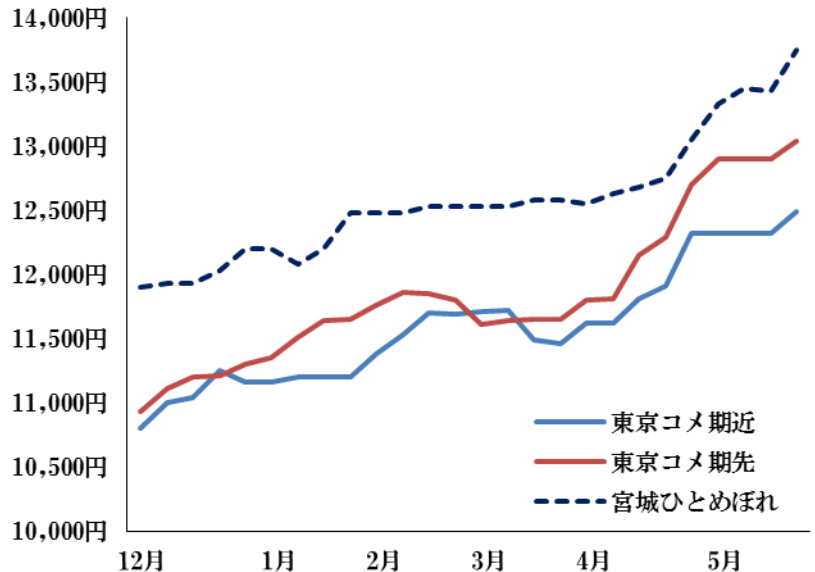
15年11月～16年5月の間の東京コメと宮城ひとめぼれの価格データ（週間中央値、26週分）をもとに関係性を見ていくこととします。

まず、両者の価格相関

（26週）は、対東京コメ期近が0.95、対東京コメ期先が0.97となっています。また、直近12週の期間騰落率については宮城ひとめぼれが9.8%、東京コメ期近が6.6%、東京コメ期先が12.0%となっています。

右グラフ（価格推移）によると、現物と先物のトレンドは近似しており、現物の価格変動リスクを先物でヘッジすることが出来そうです。

右表は、16年2月～16年5月のデータ（16週分）をもとに作成した宮城ひとめぼれの買いヘッジ計算例となります。



	現物相場	先物相場	
	山形 はえぬき	東京コメ	
		期近	期先
16年2月	12,475円	11,530円	11,860円
[第1週]	[現物調達計画]	[買いヘッジ]	[買いヘッジ]
16年5月	13,750円	12,490円	13,040円
[第3週]	[現物調達]	[差金決済]	[差金決済]
損益	-1,275円	960円	1,180円
騰落率	10.2%	8.3%	9.9%

※売りヘッジは、上記の逆となります。

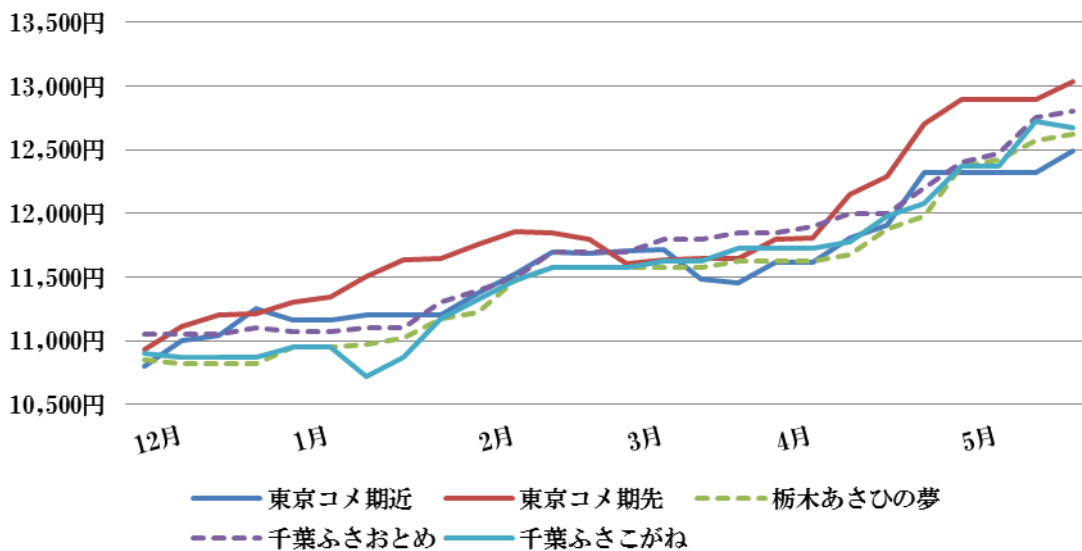
山形はえぬきの買いヘッジに東京コメを利用した結果、現物調達計画を上回るコスト（-1,275円）を先物差金（期近960円、期先1,180円）で補うことができました。

任意のヘッジ対象品種銘柄と東京コメの関係性については、計測期間によって変化するため、直近の状況だけでなく、中長期的な観察が必要であると考えています。

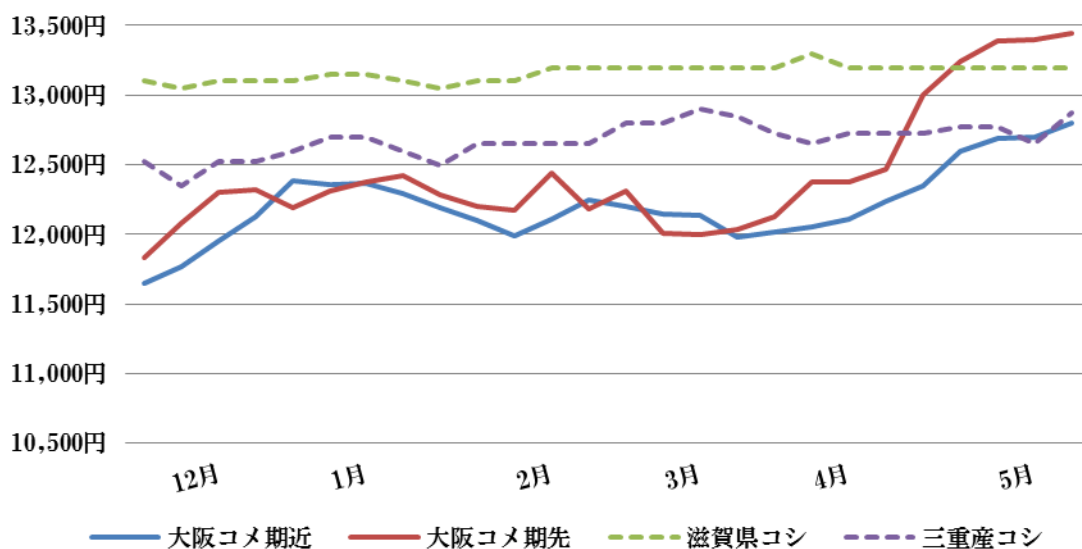
4 現物価格と先物価格

4.1 価格推移

①東京コメと標準品現物価格



②大阪コメと標準品現物価格

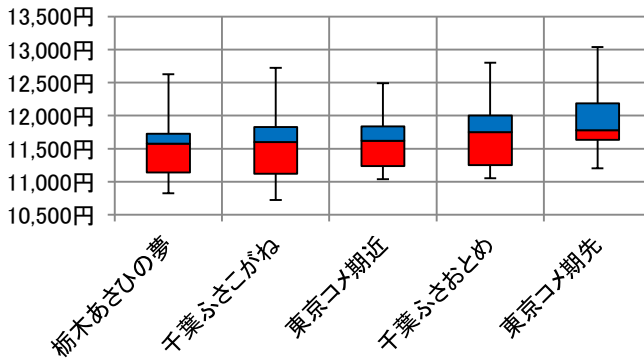


標準品の詳細は、10頁（取引要綱）にあります。

4 現物価格と先物価格

4.2 箱ひげ図

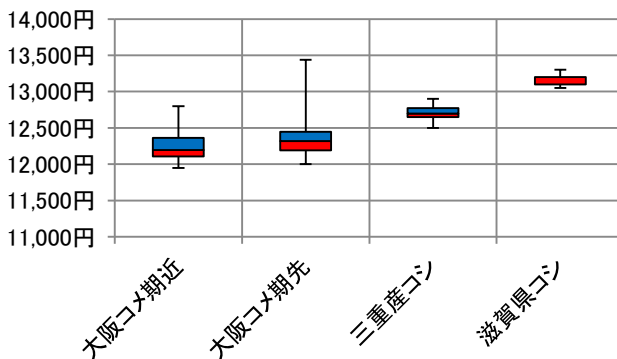
①東京コメと標準品現物価格



箱ひげ図は、直近24週の価格（週値）データに基づきます。（※直近24週：東京2015年12月第2週から2016年5月第3週・大阪2015年12月第1週から2016年5月第2週まで。）

- 東京コメと標準品現物価格の箱ひげ図によると、一カ月前よりも中央値は130円～300円程高くなっています。全体としては、東京コメが標準品現物価格の水準を捉えている状況は継続されていることから、概ね、業務用米クラスの価格指標として機能していることが確認されると思います。

②大阪コメと標準品現物価格

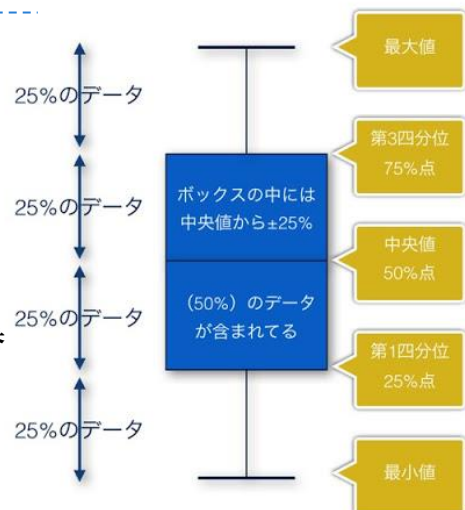


- 大阪コメと標準品現物価格の箱ひげ図によると、一カ月前よりも中央値は50円～120円程高くなっています。これは上記と比較すると小幅な上昇のため、大阪コメも標準品現物価格も大幅なレンジの変化はないように見えますが、期先価格については、28年産の値動きが反映されているため、一ヶ月前の先限価格と比較すると900円以上高くなっています。

[概要：箱ひげ図]

箱ひげ図はデータのばらつき具合を示すのに用います。データのばらつきはヒストグラムでもみることができますが、箱ひげ図は異なる複数のデータのばらつきを比較することができます。

箱ひげ図は四分位を用いてデータの散らばりを表します。四分位とはデータを昇順に並べて、4等分したものです。小さい値から数えて、総数の1/4番目に当たる値が第1四分位、真ん中に当たる値が第2四分位（=中央値）、3/4番目に当たる値が第3四分位となります。



参考1 取引要綱

東京コメ

標準品	東京コメ（栃木県産あさひの夢、群馬県産あさひの夢、埼玉県産彩のかがやき、千葉県産ふさおとめ、千葉県産ふさがね） 農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等品
受渡供用品	農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等品 及び2等品
取引単位	1枚（200俵12,000kg）
受渡単位	1枚（200俵12,000kg）
呼値及び呼値の単位	1俵（60kg） 10円刻み
限月（受渡月）	6限月（6ヵ月以内の連続限月）
納会日	当該限月の20日（当日が休業日の時は順次繰り上げる）
新甫発会日	納会日の翌営業日
受渡日	納会日の5営業日後
取引時間	前場 第1節（9：00）、第2節（10：00）、第3節（11：00） 後場 第1節（13：00）、第2節（14：00）、第3節（15：00）

大阪コメ

標準品	大阪コメ（滋賀県産コシヒカリ及び三重県産コシヒカリ） 農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等品
受渡供用品	国内産コシヒカリ、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等品 及び2等品
取引単位	1枚（50俵3,000kg）
受渡単位	1枚（50俵3,000kg）
呼値及び呼値の単位	1俵（60kg） 10円刻み
限月（受渡月）	6限月（6ヵ月以内の連続限月）
納会日	当該限月の10日（当日が休業日の時は順次繰り上げる）
新甫発会日	納会日の翌営業日
受渡日	納会日の5営業日後
取引時間	前場 第1節（9：00）、第2節（10：00）、第3節（11：00） 後場 第1節（13：00）、第2節（14：00）、第3節（15：00）

大阪コメは、東京コメの立会終了後、連続して取引が行われます。

参考2 期日受渡しのタイムスケジュール

		東京コメの早受渡し (例：20XX年7月限)				
7月	5	木				
	6	金				
	7	土		希望前検査申出期間 当月限納会日の 10営業日前から 5営業日前正午まで		
	8	日				
	9	月				
	10	火				
	11	水				
	12	木				
	13	金				
	14	土				
15	日					
16	月					
17	火					
18	水					
19	木					
20	金	納会日	受渡明細品決定			
21	土					
22	日					
23	月	受渡先決定	取引受渡証拠金の預託			
24	火					
25	水	受渡代金計算等				
26	木					
27	金	受渡日				
28	土					
29	日					
30	月		取引受渡証拠金の返戻			
8月	1	水				
	2	木				
	3	金				
	4	土				
	5	日				
	6	月				
	7	火	故障申立最終日 午後2時まで			

		大阪コメの早受渡し (例：20XX年7月限)				
6月	26	火				
	27	水				
	28	木		希望前検査申出期間 当月限納会日の 10営業日前から 5営業日前正午まで		
	29	金				
	30	土				
	1	日				
	2	月				
	3	火				
	4	水				
	5	木				
6	金					
7	土					
8	日					
9	月					
10	火	納会日	受渡明細品決定			
11	水	受渡先決定	取引受渡証拠金の預託			
12	木					
13	金	受渡代金計算等				
14	土					
7月	15	日				
	16	月				
	17	火				
	18	水	受渡日			
	19	木		取引受渡証拠金の返戻		
	20	金				
	21	土				
	22	日				
	23	月				
	24	火				
	25	水				
	26	木				
	27	金	故障申立最終日 午後2時まで			
	28	土				
	29	日				

参考3 早受渡しのタイムスケジュール

7月	1	日					
	2	月					
	3	火					
	4	水					
	5	木					
	6	金					
	7	土					
	8	日					
	9	月					
	10	火					
	11	水					
	12	木					
	13	金					
	14	土					
	15	日					
	16	月					
	17	火					
	18	水					
	19	木					
	20	金	納会日				
	21	土					
	22	日					
	23	月					
	24	火					
	25	水					
	26	木					
	27	金					
	28	土					
	29	日					
	30	月					
	31	火					

早受渡申出期間 当月1営業日から当月限納会日の3営業日前迄
 早受渡応諾申出期間 申出日の翌営業日から納会日の2営業日前迄
 早受履行日(受渡日) 応諾日の翌営業日
 故障申立期間 量目不足のみ 早受渡履行日(受渡日)の7営業日後迄

6月	20	水					
	21	木					
	22	金					
	23	土					
	24	日					
	25	月					
	26	火					
	27	水					
	28	木					
	29	金					
	30	土					
7月	1	日					
	2	月					
	3	火					
	4	水					
	5	木					
	6	金					
	7	土					
	8	日					
	9	月					
	10	火	納会日				
11	水						
12	木						
13	金						
14	土						
15	日						
16	月						
17	火						
18	水						
19	木						
20	金						

早受渡申出期間 当月1営業日から当月限納会日の3営業日前迄
 早受渡応諾申出期間 申出日の翌営業日から納会日の2営業日前迄
 早受履行日(受渡日) 応諾日の翌営業日
 故障申立期間 量目不足のみ 早受渡履行日(受渡日)の7営業日後迄

参考4 商品先物取引業者一覧

商品先物取引の口座開設、取引のご相談等は、商品先物取引業者へお問合せ下さい。

商品先物取引業者名	住所	電話番号
(株)アルフィックス	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-15-2	(代表) 06-6304-5071
EVOLUTIONJAPAN(株)	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート12F	(法人営業部) 03-4510-3320
岡地(株)	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町12-5	(国際法人部) 03-3249-8866
岡藤商事(株)	〒104-0033 東京都中央区新川2-12-16	(法人営業部) 03-3552-6731
岡安商事(株)	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-1-1	(法人部) 03-5642-8619
(株)コムテックス	〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14	(代表) 03-6543-2118
サンワード貿易(株)	〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2	(代表) 03-3260-0211
第一商品(株)	〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9-1	(代表) 03-3462-8011
日産証券(株)	〒103-0014 東京都中央区日本橋蠣殻町1-38-11	(代表) 03-5623-0023
北辰物産(株)	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-9-2	(代表) 03-3668-8111
豊商事(株)	〒103-0014 東京都中央区日本橋蠣殻町1-16-12	(法人営業部) 03-3667-5228
(株)アステム	〒540-6591 大阪府大阪市中央区大手前1-7-31	(代表) 06-4790-3401
今村証券(株)	〒920-0906 石川県金沢市十間町25番地	(代表) 076-263-5111

お知らせ



堂島先物塾

コメ先物取引を勉強してみませんか！

大阪堂島商品取引所では、(1)一般（先物取引未経験者）および(2)当業者（コメの生産者及び流通業者）を対象とした勉強会を実施しています。これまで、個人（大学生、社会人）、小売業者、卸売業者、生産者、加工業者、金融業者等の方々が堂島先物塾を受講されています。

(1) 一般向け（受講料無料）

- ①東京受講（大阪堂島商品取引所 東京支所）
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
- ②大阪受講（大阪堂島商品取引所）
〒550-0011 大阪市西区阿波座1-10-14

(2) 当業者向け（講師料無料）

講師派遣可（※上記(1)の場所での勉強会も可）

堂島先物塾に関するお問合せ

電話 03-4334-2185（大阪堂島商品取引所 東京支所）



堂島トライアル
プロジェクト

堂島トライアルプロジェクト3（DTP3）の参加者募集

現在、コメ先物市場で取引に参加する当業者の属性は、卸売業者が中心となっておりますが、本所といたしましては、流通の川上にあたる生産者や集荷業者等の一層の参加を得ながら安定取引の拡大に寄与すべく、コメ先物取引の機能や役割等についての正しい理解と値決め取引・ヘッジ取引の利活用を促進したく、「DTP3」を実施することといたしました。

「DTP3」の概要、応募資格、調査協力費等については、下記URLへアクセスし内容をご確認の上、「DTP3」への参加をご検討願います。

⇒⇒⇒ http://ode.or.jp/news/151116_dtp3.pdf

予約注文(指値)

状況確認

コメ先物取引の予約注文状況（一部掲載）

東京コメ ⇒ http://ode.or.jp/market/price_rice_t.html

大阪コメ ⇒ http://ode.or.jp/market/price_rice_o.html